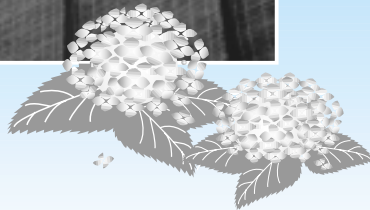


INTER KYOTO

インターキョウト

2007.6.30 No.34

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会



CONTENTS

会長直言 会員間の連携強化を目指して	1
通常総会開催報告	2
平成18年度 第2回通常総会	
平成19年度 第1回通常総会	
府民セミナー開催報告	
委員長より一筆啓上	3
平成19年度新体制	3
協会だより	4
「ANIAちば大会」開催報告	
「京情協情報技術マップ」18年度版完成 お知らせ / 編集後記	

会長直言

会員間の連携強化を目指して

(社) 京都府情報産業協会 会長 長谷川 亘

会員企業の皆様におかれましては、事業の発展に向けて日々邁進されていることと拝察申し上げます。

さて、去る6月6日から8日に全国地域情報産業団体連合会（ANIA）の全国大会が千葉市で開催され、私は京都府情報産業協会会長として出席してまいりました。ANIAは全国の情報通信産業団体の正会員と中央の特別会員団体、そして、賛助会員企業から構成されている連合会組織であります。ご承知のとおり、京情協はその正会員の一員となっております。

情報通信技術の進展と普及が経済のグローバル化を促し、私たちは熾烈な国際競争に晒されています。また、国内においても、地方と首都圏、中小企業と大企業等の間の格差の拡がりなど、大きな激変の渦中にあり、こうした状況への対処は、業界全体としての取り組みが必須です。その意味で、京情協としてのANIAへの参加は意義深いと考えております。

また、今回の大会は他地域の情報産業協会の取り組みなどを知る機会ともなりました。他の協会と比べて、我々京情協は会員企業の関係が密接であり、そこに強みと今後の可能性があると感じました。

なお、現在、私はANIAにおいて、理事及び全国人材対策委員会の委員長を務めさせていただいております。微力ではありますが、業界全体の発展及び京情協の地位の向上のため、誠心誠意尽力いたす所存です。

会員の皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



平成18年度 第2回通常総会 (3月30日)

今後のさらなる発展を誓って!

平成18年度第2回通常総会が平安会館において開催されました。最初に平成19年度の事業計画案(府民生活の向上に資する情報化促進事業 府民に対する情報関連技術の啓発・普及事業 府内地域産業の情報化促進事業 社会の発展に伴う諸課題に対する情報通信技術の利活用に関する事業 行政・団体、その他関係機関との連携・交流事業 府内情報産業の強化振興事業 全国情報関連諸団体との連携事業 その他本協会の目的を達するために必要な事業) ならびに予算案について審議がなされ、これからも全会員が協力しながら、京情協を盛り上げていくことが確認されました。

そのほか、今年3月に行われた「ケータイ国際フォーラム」の参加報告や、新たに発足する「京情協シニアクラブ(仮称)」の会則等についての検討なども行われ、平成18年度を締めくくる総会を無事終えることができました。



都府情報産業協会 平成18年度通常総会



長谷川亘会長

乾杯の音頭をとる中村徹理事

平成19年度 第1回通常総会 (5月28日)

1年間の協会活動で一定成果を得る

平成19年度第1回通常総会が平安会館において開催されました。長谷川会長が議長に選任された後、平成18年度の事業報告・決算報告について事務局が説明。「めざましく発展するITへの対応を事業活動のテーマとし、関連諸団体や機関との連携を強めながら、協会の知名度向上や会員の経営体質の充実、京都府民に対するIT紹介など、幅広い活動で一定成果を収めることができた」と評価しました。また、本協会の前会長として事業運営に多大に貢献されてきた植田弘毅氏が理事を辞任されたのに伴い、改めて特別会員への推薦があり、満場一致で承認されました。



特別会員の就任挨拶をされる
植田弘毅前会長

府民セミナー開催報告

5月28日(月) 15:30~17:30 平安会館2階 白河の間



『医療画像システムによる診断支援』をテーマにした「府民セミナー」を開催しました。講師の英保茂教授(京都情報大学院大学ウェブビジネス技術専攻主任)の講演では、「近年、医療画像機器が飛躍的に発展し、高精細の人体内部の3次元データの取得が容易になりました。3次元のデータをコンピュータ内に蓄積し、人体計測や加工、表示をリアルタイムで行うことで、情報と医療を融合したさまざまな可能性が広がります」と今後のビジネス展望について説明されました。会員以外からもたくさんの参加者があり、講演が終了した後も熱心に質疑応答が行われていました。

委員長より



平成19年度活動方針



事業推進委員会 駒井 一正 委員長

今年は事業推進委員長を仰せつかって2年目になり、課題山積の中、皆様のご協力により実績を重ねたいと念じております。京情協も本年は、社団法人になって7年目を迎えるとともに、長谷川会長2年目の年であり、ANIAの理事や人材対策委員長などの対外活動に積極的に参画されています。また協会内部充実に向けては、京情協のサポーターとして「シニア会」(仮称)発足や、賛助会員の増強活動、将来の協会史作成に向けて沿革資料の収集などが今年の事業推進委員会の課題となっています。各会員企業にとって、京情協の会員であることが「儲けるため」だけではなく、企業のステータスとして質の高い協会活動を目指し、今年も「明るく・楽しく・そして厳しく」をモットーに推進したいと存じます。



技術委員会 三上 雅弘 委員長

技術委員会は情報産業のハードコアともいべき「技術」の向上、発展、交流を京情協という枠組みの中で促進することが、その役割だと考えています。各種セミナーを通じて技術の最新動向をお伝えすること 昨年度実施した京情協会員企業の「情報技術マップ」を継続的に作成し、会員企業が取り組んでいる技術の概観と動向を明らかにすること 京情協を支える新しい世代の人たちの交流を深める場として「SE/システム高度化研究会」の開催を技術委員会の事業として進めていきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。



経営委員会 小島 耕一郎 委員長

当委員会の19年度の事業活動は、昨年と同様、会員各社と府民の皆様のお役に立つよう、啓蒙活動 行政との連携 会員サービスの3点を中心に活動していきます。具体的活動としては、府民参加型のセミナーを「医療画像システムによる診断支援」のテーマで計画しています。京都府中小企業技術支援センターと4半期ごとに府内情報産業の景気実態の状況や他産業の景気状況について情報交換し、話し合っていきます。会員各社の経営者や管理責任者の方々が、日頃悩んだり困ったりしていることを共通のテーマとして、情報や意見交換を行い、識者を講師に招いて勉強するための「情報交換広場」(8月、2月)と「経営研究会」(7月、9月、11月)を開催いたします。



地域情報化委員会 中川 茂之 委員長

平成19年度の当委員会の活動は、官(行政、行政関連団体)と連携してITコンソーシアム京都の4つの部会(ネットワーク、医療情報化、地上デジタル放送、情報セキュリティ)の活動概要を会員へ広報 リクルートにおける大学との連携を検討・構築 平成20年賀詞交換の新春セミナーの開催の3つがメインとなります。は、当委員会の新しい取り組みであり、今期は本格的な活動に向けての準備期間的な位置付けになります。極端な売り手市場となった人材の採用について近隣の大学と連携を図り、当協会企業のPR・重点取り組み・企業実態を理解してもらうなど、地道に採用活動を行う仕組みを検討したいと考えています。



広報委員会 河合 康博 委員長

今年度から広報業務を推進するためのネットワークづくりを再構築したいと思います。以前から「京情協」の内向けの広報と、外に向けての広報の必要性を痛感していますが、なかなかすべてを満足させるような仕組みにはなっていません。現在、9名体制で、各委員会の担当 会員企業紹介の担当 会員企業からの情報収集や各委員会との連携強化による情報発信を行っています。会員の皆様にも、自社の広報も兼ね、積極的なご協力をお願いします。また、事務局とも連携し、「京情協」及び会員企業の皆様に貢献できるよう活動いたします。

平成19年度新体制(敬称略)

は新任

会 長	長谷川 亘	京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院
副 会 長	北山 寛巳	けいしんシステムリサーチ(株)
	畑山 正雄	(株)京信システムサービス
	古川 峰生	(株)総合システムサービス
理 事	橋田 衛	京都電子計算(株)
	河合 康博	アド・プロヴィジョン(株)
	田中 正道	シーク電子工業(株)
	松本 慎吾	島津エス・ディー(株)
	中村 徹	(株)たけびし
監 事	池田 達夫	ワールドビジネスセンター(株)
	井上太市郎	(株)スリーエース
名 誉 会 長	白石 雪翁	京都電子計算(株)
顧 問	田中 義則	日本コンピュータファシリティ(株)
事業推進委員長	駒井 一正	京都電子計算(株)
広報委員長	河合 康博	アド・プロヴィジョン(株)
経営委員長	小島耕一郎	(株)近畿リサーチセンター
技術委員長	三上 雅弘	中信コンピューター・アンド・コミュニケーション(株)
地域情報化委員長	中川 茂之	システムプロデュース(株)
事務局 長	和田 壽郎	京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院

協会だより

正会員 61社
特別会員 2名
賛助会員 5社

事業推進委員をはじめ会員皆様の積極的な
会員増強運動により、成果を得ることができました。
今後も入会紹介や勧誘にご協力をお願いします。

「ANIAちば大会」開催報告

事業推進委員長 駒井 一正

ANIAちば大会は、6月6日(水)から8日(金)まで京成ホテルミラマールをメイン会場として開催され、北海道から沖縄まで全国から三百数十名の情報産業団体関係者が集った。京情協から3社7名が参加し、全国の地域情報産業団体関係者との交流を深めた。

なお、京情協の事業内容にも他団体との交流による情報収集などがあり、今回は京情協を支える多くのメンバーが参加されることを期待する。内容については次のとおり。

1日目 各県事務局連絡会議 前夜祭

2日目 ANIA総会 各県事例発表会 ちば大会(式典)

ちば大会(講演1)

「DNAの時代を迎えて」

大石道夫氏 かずさDNA研究所理事長兼所長

ちば大会(講演2)

「東京ディズニーリゾートのホスピタリティサービス」

栄 幸信氏 株式会社オリエンタルランド

ちば大会(講演・実演)

「レスキューロボットの実用化に向けての取り組み」

千葉工業大学未来ロボット技術研究センター

副所長：小柳英次氏、研究員：吉田智章氏、

室長：先川正浩氏

懇親会

3日目 エクスカーション

(東京ディズニーシー、ゴルフ大会、鷹之台カンツリー倶楽部)

それぞれの内容について所見もあるが、紙面の都合で残念ながらコメントできない。ディズニーリゾートでは95%がリピーターだとして、そのご苦労は一般企業にも通ずる



ちば大会(講演)



ANIA総会

挨拶する長谷川巨人人材対策委員長



アイデアが必要であると感じ、翌日にはその実際を見聞した。

3日間にわたり中身の濃い内容で、ANIA並びに(社)千葉県情報サービス産業協会の皆様には周到な準備と温かいもてなしに対し、心から厚くお礼申し上げます。

なお、京情協関係者の参加者は次のとおり。(順不同) 長谷川 亘会長、駒井事業推進委員長、中川経営委員会副委員長、和田事務局長、京都コンピュータ学院の江見準教授、李準教授、豊島教職員7名。

お知らせ

第1回経営研究会

日時：7月19日(木) 15:00~17:00

場所：京都コンピュータ学院 西館 4階会議室

テーマ：「J-SOX法について」

講師：宗平 順己氏

(株)オービス総研 技術部 ソフトウェア工学センター長

第1回情報交換広場

日時：8月23日(木) 18:00~19:00

場所：ぱ・る・るプラザ京都

テーマ：「人事考課Part 2」

グリーンサミット

日時：9月8日(土) アウト8:12

場所：朝日野カントリー倶楽部

「SE/システム高度化研究会」キックオフセミナー

日時：9月11日(火)

場所：平安会館

テーマ：未定

講師：未定

「京情協情報技術マップ」18年度版完成 京情協会員企業の情報技術を解剖!

技術委員会は「市場戦略や技術戦略策定、人材育成の立案」に役立たせる目的で、昨年からは会員企業に対して『情報技術マップの調査』を実施いたしました。この度、18年度版が完成し、会員企業の技術利用実績や着手意向等が明確になり、会員企業の要素技術の定量的把握ができ、従来にない貴重なデータとなりました。(JISAの手法を一部修正し実施したものです。)

編集 後記

『インターキョウト』34号をお送りします。当協会は社団法人になって7年目を迎え、新体制がスタートしました。府民生活向上に寄与したさらなる活動を目指して、我々に課せられた責任が益々重くなってきています。広報委員会ではこの活動内容をもらさずに紹介していきませんが、限られた紙面ですべてをお知らせすることは容易ではありません。京情協ホームページでもご案内していきますのでご覧ください。「興味深く」「楽しい」京情協を...

京情協 WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp/>